

長浜市新時代開拓支援事業補助金の採択検討について

< 全体まとめ >

長浜市新時代開拓支援事業補助金
採択検討委員会委員長

長浜市新時代開拓支援事業補助金については、事業者から第1期・第2期合わせて、延べ323件の応募があり、127件が採択されたところです。(採択率：39.4%)

本委員会では、提案のあった事業計画について、募集案内に定める採択基準に基づき検討を行いました。

その内容について、事業者の皆さんに今後の参考としていただくため、本委員会のまとめを下記のとおり公表します。

記

○コロナ禍をはじめ、社会経済環境が著しく変化している現在、どの事業者も、どの業界も、大なり小なり様々な苦悩を抱えておられると思います。

そうした中であっても、次の時代を見据え、懸命に挑戦しようとする事業者の皆さんが、非常にたくさんおられたことは、この地域にとって大変大きな希望ではないかと感じています。皆さんの意気込み、やる気を強く感じました。

○また、長浜市では、「産業振興ビジョン」の中で、基本理念と目標を「Challenge & Innovation ～ オール長浜で挑む、価値創造の未来 ～ 」と定めておられます。

この理念等に基づき、行政としても、次の時代を見据え、懸命に挑戦しようとする事業者の皆さんを何とか応援したいとの思いから今回の補助金が創設されたと伺っております。

○本事業を実施するにあたり、長浜市が準備した予算は約4億5,000万円で、過去最大規模だそうです。事業者の皆さんと同様に、長浜市の事業者支援にかける意気込みを強く感じました。

○本委員会では、そうした皆さんの思いに何とか応えたいとの思いで採択検討をさせていただきましたが、委員会による採択検討では、皆さんの思いの詰まった事業計画に優劣を付けなければならず、大変悩ましいものがありました。

本補助金は「競争的資金」であり、応募件数が非常に多かったこともあり、結果として、採択は狭き門となってしまいました。

- 採択検討においては、自社の現状分析、課題分析を肝としました。
様々な視点を持って、その部分をどれだけ深く考え抜くことが出来たか、そこが一つのポイントになったと思います。
- また、今年度を、コロナ後を見据えた「転換期」と位置付ける中で、コロナ後に何を見据え、どのように成長していくのか、その道筋がどれだけしっかり描けているか、そこも大きかったと思います。
- 提案のあった事業内容が、どこまで事業者の成長やボトルネックの解消に繋がるのか、期待する効果が見込めるのか、どこまでを補助金で支援すべきかなど、様々な意見がありました。
- 例えば、事業の内容だけを見ると同じような提案でも、その過程で、しっかり踏み込んで考えられているもの、踏み込みが足りないもの、まったく考えられていないものなど様々あり、それらが評価を分けたと思います。
- 本委員会は、提案された事業計画の採択検討という部分を担いましたが、採択された事業の数々が、今後計画通りに実行され、事業者の皆さんが次なるステージへと着実にステップアップしていかれることを切に願っております。
- 本委員会としましては、今回の事業提案を一つの契機として、事業者の皆さんが、少しでも自社のビジネス、自社の未来について考える機会を引き続き持つていただければ幸いです。
長浜市が目指す「Challenge & Innovation ～ オール長浜で挑む、価値創造の未来～」を応援するとともに、皆さま方のご健勝と今後益々のご発展を祈念いたします。

以上